

多久

TAKU



●第2回多久駅前元気まつり



●多久市子供クラブ大会

勞而不怨

うつして 怨みず

いやなことがあっても不服そうな顔をしない。

議会だより

平成23年3月定例会

第8号

5月臨時議会

➤ 平成23年度 一般会計当初予算 104億5千万円

➤ 東日本震災見舞金 市財源より1千万円

➤ 多久市議会 新構成決まる

目次 contents

会期日程 ▶ P2

一般質問 ▶ P3

議案質疑 ▶ P6

委員会審査報告 ▶ P7

2月臨時会議決結果 ▶ P10

3月定例会議決結果 ▶ P10

多久市議会の新構成 ▶ P11

活動報告・編集後記 ▶ P12

2月臨時会

平成23年2月15日に多久市議会臨時会を開催し、市長より提出された議案4件（契約1件、予算2件、人事案件1件）の審議を行いました。審議の結果、（仮称）中央小・中学校敷地造成工事請負契約の締結については反対意見がでしたが、賛成多数で可決されました。ほかの議案についても原案どおり可決されました。

3月定例会

1会期

平成23年3月市議会定例会は3月3日～23日まで（会期21日間）開かれました。今回は7人の議員が市政一般に対する質問を行いました。

また、市長から提出された議案25件（条例・議決案件5件、予算20件）、議員提出議案2件（議会基本条例、意見書1件）の議案について審議し、平成23年度多久市一般会計当初予算及び最終日に追加提案された、平成22年度多久市一般会計補正予算（第6号）については反対意見が出ましたが、賛成多数で可決されました。ほかの議案についても原案どおり可決されました。

2 主な議事日程

3月3日	開会 提案理由説明
4・7日	議案研究
8・9日	一般質問
10日	議案質疑
14・17・22日	委員会審査
23日	討論・採決

主な議案

3月定例議会

平成23年度
多久市一般会計予算

歳入・歳出ともに

104億5千万円

前年度比7・6%増

★増額となった主なもの

- （仮称）中央小中一貫校
- 建設事業
- （仮称）西溪小・中校
- （仮称）東部小・中校
- 実施設計事業

★主な財源

- 保育所緊急整備事業
- 中多久歩道橋新設事業
- 不妊治療助成金 5万円→10万円に
- 全国女性消防操法大会出場経費
- 総合運動場テニスコート改修費用

市税

17億532万円

地方交付税

39億円

国庫支出金

13億9975万円

県支出金

8億2115万円

繰入金

5億2429万円

市債

11億1180万円

追加議案 平成22年度多久市一般会計補正予算（第6号）

- 震災被害の大きかった岩手、宮城、福島県の3県にそれぞれ300万円の見舞金を送り、日本赤十字に100万円の義援金を支出。
- 財源：予備費を1000万円減額しそれを充当する。

40万円の義援金を送りました

今回の東日本大震災の被災者に対して16人の市議会議員で総額40万円の義援金を送りました。市が集めている義援金に出すと、公職選挙法違反に当たるとの事で、佐賀善意銀行（佐賀新聞社）に送りました。

陳情・要望等 7件

- ◆ 「国による乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書」に関する陳情書（佐賀県保険医協）
- ◆ 拡大生産者責任（EPR）及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について（環境自治体会議共同代表 他）

- ◆ 子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチンの定期接種化を求める意見書採択に関する陳情書（公明党多久支部）
- ◆ 平成23年度多久市商工業振興事業補助の陳情について（多久市商工会）
- ◆ 商工会法施行50周年事業の開催に係る補助について（多久市商工会）
- 他 2件

一般質問

3月8（9）日、7人の議員が一般質問に立ちました。掲載の一般質問は要点だけをまとめたものです。



國信 好永 議員

多久駅周辺土地画整理事業の進捗状況について

部を除くJR軌道南側のエリアを概ね完了し、多久駅北地区の面整備をしています。進捗率は、事業ベースで83%です。区画整理事業の期限が平成26年度となつていますが、工事については平成25年度の完了を予定しています。

公共下水道の追加工事について

質問 昭和60年からの計画が今実行されていますが、完了が平成25年といえは28年もの長い計画です。最初の計画は「賑わいのある商店街」の再生だったはずですが、現実には店舗ではなく住宅も建設され、商店街の建設とはかけ離れています。102億円も掛けて本当に賑わいのある商店の建設ができるのでしょうか。いい結果が出るのでしょうか。

回答 平成7年に佐賀県知事の事業認可を受け、平成8年2月に本工事に着手し、現在は砂原の一

質問 現在の工事代金が75億円なのに新たに36億円の追加で合計111億円の大工事。国と県の補助があるとしても莫大な金額です。息子や孫など後世に借金という付けが残るようなことをしないでください。追加工事をする前に加入率の増加を図ることが先決問題だと思います。公共下水道をやって合併浄化槽を設置すると1/4の工事代金ですみます。合併浄化槽の



多久駅周辺

管理料が高すぎます。管理料を市でみてください。ほかの地域の公共下水道の予定はいかがですか。
回答 工事は面整備で平成22年度末63・4%、戸数では59・8%が接続されています。ほかの地域の予定は北多久が平成28年度に完了予定ですので、その後になります。あくまでも予定です。

教育行政について



角田 一彦 議員

質問 小・中学校一貫教育基本計画で西溪中学校・中央中学校・東部中学校の進捗状況について

回答 中央中学校では、学校建設のための造成工事の契約を平成23年2月

16日から平成24年3月16日までの工期で締結。また学校建設の実施設計は本年2月28日で完了、来年度から建設に向け今議会への予算提案をしています。東部中・西溪中学校では、学校建設（案）を検討中、建設のための実施設計予算を提案しています。学校の先生方を中心に「小中一貫教育推進準備委員会」を立ち上げ、協議と準備を行つています。平成25年4月開校を目指し今後計画どおり進める所存です。

質問 西部小・緑が丘小・納所小学校で小中一貫教育に対し反対署名運動は、どのように対処されていますか。
回答 西部小・納所小学校の陳情内容は、地域から学校がなくなれば子ども達の元氣な挨拶や声が聞こえなくなり元氣のない地域になり、地域教育の大切さを言われ小学校を残すよう陳情されています。筋原区からは適正規模・適正配置の観点から緑が丘小学校規模では統廃合の必要性がないことや、多久駅前の区画整理も進み廃校することの矛盾から小学校を残すよう陳情されています。陳情書に対しては、市長・副市長・教育長の三役が地域の代表者と意見交換を行つており、西部小学校では地元検討委員会へ陳情書に対する市の考え方を話し意見交換を行っている。今後とも地域の方々、地元検討委員会の皆様と意見交換を行い理解が得られるよう努力は続けてまいります。

質問 平成25年、3校同

農業問題について

時に開校できるのか。
回答 3校同時開校を目標に計画を進めていますので、実現に向け努力しています。

質問 平成22年度から実施されている戸別補償制度に新たな制度が追加されているがどのような制度か。
回答 本年度の事業内容に加え、麦・大豆等の生産経費と販売価格の差額を補填する「畑作物の所得補償交付金」ならびに麦・大豆の生産向上、地域振興作物支援のための産地資金事業が実施される。

質問 中山間直接支払制度、農地・水・環境保全対策事業の取り組み状況について。
回答 中山間直接支払制度については22年から26年までの3期対策では2期対策に比較し面積で66ヘクタール協定数2協定の減、41協定面積391ヘクタールとなっています。



野中 保罔 議員

多久市の活性化及び 定住人口増に向けて の取り組みについて

質問 当局はどのように
とらえているか。

答弁 これまで以上に定
住促進事業等を取り組み、
雇用の場の確保や生活環
境の整備に努めながら、
魅力あるまちづくりに向
けた施策を展開していき
ます。

その一つとして、今年
4月からは、子どもを生
み育てる若年層世代を市
内に誘導する施策とし、

新婚世帯に対する民間賃
貸住宅入居の家賃補助や
新婚世帯の住宅の増改築
補助等を新設しています。

質問 コーリー及びゆ
らくの再開に向けての現
状と展望は。

答弁 コーリーについて
は、昨年5月頃より民間
と民間の仲介役として、

あるスーパーチェーン店
と協議を行っています。
現時点におきましては、
この場で公表できる状況
になっていません。

早期に再開をしていた
だくように、今後とも市
民を上げて取り組む先頭
に立ってまいりたいと思
います。

ゆうらくについては、
現在3回目までの入札ま
では入札に応じた業者等
は現れていません。

多久市といたしまして
は、様々な状況を想定し
活用策等について検討し
ていますので、その内容
等を参考にして取り組み
をしてまいりたいと、考
えています。

質問 小中学校統合につ
いて、同意が得られない
場合の対応は、当分の間、
分校として残すことは考
えられないか。

答弁 今後は、地域活性
化につながる校舎の利活
用等の施策について地域
の方々と意見交換を行い、
理解を求め平成25年4月
開校を目標に努力を続け
てまいります。

分校については、財政
的に難しいと考えていま
す。

質問 多久市ふる里応援
寄付について。

答弁 寄附金の額につい
ては、平成20年度に比べ、
平成21年度、22年度と
年々減少傾向にあります
が、これは「孔子像修復
事業」のような寄附の目
的がハッキリするような
事業がなかったことが要
因かと考えているところ
です。

このため、平成23年度
からは、西溪公園や中央
公園に桜・紅葉を植樹す
る費用の寄附を募るよう
計画しています。



閉鎖中のコーリー



中島 慶子 議員

「福祉・健康」のまち づくりに対する現況 と対策

質問 特定健診や死亡の
実態から見える現況は。

答弁 受診率は、平成22
年度目標51%に対し50%
まで達成。健診結果から
高血圧や糖尿病項目で要
保健指導が614名31・
8%。要病院受診117
8名61・1%を超えてい
る実態。また死亡は23
7名で、1位は102名
の「がん」による死亡。が
ん検診で、胃・肺・大
腸・乳がんで13名の方の
がん発見。早期発見・治
療が重要であり、更に検
診の啓発に力をいれてい
く。

質問 生活習慣病や予備
軍への支援対策は、どう
されていますか。

答弁 保健師・管理栄養
士・看護師・保健指導実

施機関に委託して特定保
健指導該当239名に、
改善目標を立て取り組ん
でもらっている。また必
ず健診結果の説明をし、
理解してもらい重症化防
止と早期介入で、個別指
導を中心に支援に取り組
んでいる。

質問 健康づくりの基本
として、子どもの頃から
の食習慣が重要。食育推
進計画策定後の取り組み
状況について。

答弁 事業推進の根幹に
「食育推進協議会」を設置。
25名の委員で構成。ス
ローガン「はじめよう食
で育てる元気な子」を啓
発し、市民が健全な食と
食習慣の大切さを再認識
し、市民生活の中に浸透
するよう進めている。

質問 食育基本法制定や
総合的栄養指導等「食」
の重要性が認識され、正
職員としての行政管理栄
養士の配置が必要だと考
えますが。

答弁 食育の推進や健康
指導に関しても大切な役
割を担っていく重要性は
高く評価している。今後

配置に向けて、多角的な
検討をしていく。
質問 病児病後児保育事
業の実施について、どの
ような形態でスタートさ
れるのか。

答弁 市内に独自の施設
の設置が望まれているが、
現在、佐賀市と協定を締
結し、香月医院内（かる
がもの部屋・橋野こども
クリニック（ぞうさん保
育室）は従来通り。新し
く、江北町の古賀小児科
内科病院に、本年4月下
旬に開設。対象は、生後
2ヵ月から小学校3年生
まで。平日8時～18時。
土曜日は13時。負担金2
千円。事前登録の必要有
り。利用時は直接病院に
確認をとるなどする。市
の隣接の町であり利便性
も高まると考えますので
協議を進めていく。





飯守 康洋 議員

第4次多久市総合計画について

質問 「基本構想」について、基本的な考え方。

答弁 総合計画は、本市のすべての分野における行政運営の基本となる「最上位計画」と位置付けており、基本構想では、本市の目指すべき将来像とそれを実現するための基本方針や施策の大綱を示しております。

基本構想では、本市の特性・資源を最大限に生かしながら、すべての市民が力を合わせて、「私のふるさと」として自信を持って誇れるまちを創造し、孔子の教えをシンボルとした教育や、現在では忘れがちな心豊かな思いやりを育むまちとして、という思いを込め、本市の将来像を『「緑園に輝く―みんなで創る文

教・安心・交流のまち多久』と定めております。

質問 「基本計画」第6節、産業間連携で拓く―雇用と活力を生み出す産業づくりについて

「農林業の振興」について、基本的な考え方。

答弁 圃場や老朽農業施設の再整備や担い手の確保、農業所得の向上、都市農村交流実施組織の拡大等に努める必要があります。

林業については、小規模森林の集約化による施業コストの低減化を図る事が重要であり、林内路網等を整備し高性能林業機械の導入を進めていく必要があります。

そのための施策として、認定農業者や営農組織の安定した農業経営のため、農産の振興と生産基盤の充実を促進します。また、耕作放棄地の発生を防止するとともに解消を図っていきます。

林業は、森林所有者の森林施業に対するコスト低減措置を実施し、森林の持つ水源涵養や山林災

害の防止など、多様な機能の維持を継続していきます。

そのための主要な施策として

① かんがい排水事業の促進

② 優良農地の整備促進

③ 中山間地域の整備促進と保全

④ 農業水利施設の長寿命化

⑤ 農村環境の保全

⑥ 農産の振興

⑦ 地場農産物の消費拡大

⑧ 都市農村交流実施組織の拡大

⑨ 耕作地放棄対策の推進

⑩ 森林機能の維持及び基盤整備

以上を掲げています。



野北 悟 議員

水道事業の安定経営と水道料金について

質問 耐震性の弱い、古い石綿管の更新計画について今後の予定は。

答弁 平成21年度末での残存延長は10・9キロとなっており、おおむね5年から10年の間で布設換えを完了する予定です。

質問 大口利用者の専用水道への切り替えでどのような影響が考えられるか。

答弁 市内では二つの事業所が専用水道を設置されており、水道料金に換算すると2230万円の減額となります。

質問 水道料金の通増制（使用量が増えると段階的に単価が上がる）は、水使用量の抑制には良いが、使える水が余っている状況では、今後、見直しも検討するべきではないか。

いか。また、5トン以下の基本料金を単価計算すると、トン当たり320円となります。

独居の高齢者所帯等に配慮した見直しができないか。

答弁 平成14年に10トン単位でいくと負担が大きいの事で5トンを設定しましたが、単価で見れば320円という形です。で、今回の料金検討時期に分析し検討していきたい。

多久市における学校教育の最終目標は何か

質問 小中一貫校建設の理由として、中1ギャップの解消がありました。環境の変化を体験させないことで得られるものは何ですか。

答弁 中1ギャップとは不登校、いじめや暴力、規則違反などの問題行動で、進学時に体験する変化が広範囲かつ顕著すぎることが原因だと考えます。小・中学校の滑らかな接続を実現し、中1

ギャップを経験させないことで、不登校、いじめや暴力、問題行動などが防げ、義務教育9年間でよりよく展開できる。

質問 現在の社会状況を考えた場合、様々な経験をし、つまずいたり転んだりして、自分で立ち上がる経験をするにより、生きる力が養われるのではないか。

答弁 現在、週3時間ほど3年生以上で総合的な学習の時間を実施しております。それが、子どもたちが様々な経験を通じて生きる力をくぐむ、一度失敗しても2度3度挑戦をする場所を与える学習の場として行っています。

質問 学力で課題を積み残したまま進級した子どもに対するフォローを何処でやるのか。

答弁 昼休みや、帰りに集めてこれまでやってきたが、下校時間の問題などで、十分な対応はできていない。



平間 智治 議員

地デジ化100%へ向けて！

質問 現在もデジタル未対応の世帯は、総務省によれば「200万〜250万世帯に上るのではないか」とされています。

特に、低所得・高齢者世帯のデジタル化は遅れていて、同省は、生活保護世帯などNHK受信料の全額免除世帯に対して約300万台のチューナーを無償配布する予算を組んでいて、制度を広く知らせることが大切であります。さらに、1月24日からは、市町村民税の非課税世帯にも給付の対象を広げました。

しかし、対象拡大に関して、非課税世帯を総務省が把握することは法律上不可能で、各市町村の広報体制とデジタル機器の扱いが苦手な高齢者世

帯などに対するサポート態勢の強化が強く求められます。そこで、デジタル未対応の世帯に対する難視聴対策と低所得者への取り組みについて伺う。

答弁 山間部の難視聴地域に、平成18年度から、国や県と共に多久ケーブルメディアが整備するエリア拡張工事に対して補助金を交付し年次的にエリア拡大を図ってきた。

このほか、「地デジ県民サポートセンター」と連携して、受信困難地区の電波調査を実施し、該当地区に対して電波状況の周知を行ってきた。デジタル化に向けての広報と低所得者への対応は、市報や市ホームページでの広報活動や、地デジ相談窓口の設置、嘱託員・区長会での説明会など周知活動を行ってきた。

質問 現状は、地域を回ってみると、非課税世帯の方で支援があることを知らない方、まだアナログのまま見ているが、どうしてよいかわからない方、生活保護世帯の方で書類

を送って3カ月経つが何も連絡ない方など進んでいません。アナログ放送があと4カ月で見れなくなりそうです。国も完全移行に向けた「最終行動計画」としてボイスカウトや民生委員などで構成する全国20万人規模の「地デジボランティア」が高齢世帯などに声かけなどを行い、「最終国民運動」を展開するとしています。市においても早急に市民の側に立った積極的な対策を打つよう要望します。



議案質疑



3月議会に上程の議案の中より、左記の質疑を行いました。更に、上程された議案は、総務文教委員会及び産業厚生委員会へ審議を付託、また各常任委員会選出議員で構成の予算特別委員会、会期中、慎重に審査し、議会で議決を行いました。

質問者

真島 信幸
飯守 康洋
平間 智治
野北 悟

議案乙第3号 平成23年度多久市一般会計予算について

質問 市税の本年度予算額17億531万8千円は景気動向を示す統計資料に基づいて算定されたのか。

答弁 多久市における統計資料はないので、県が行っている22年度の課税状況調査の数値を基に、人口増減率（今回は97・6%）を乗じた額で算定した。

質問 総務費の中の旅費が今年度は昨年度に比べて63万6千円増額になった理由について。

答弁 職員研修に要する費用（自治大学での研修1名増員、自主研修グループの政策研修費、自衛隊での新人教育等）で50万6千円の増、市長に要する経費で昨年度の九州市長会が嬉野で開催され不要であった13万円が今年度は必要となり増額されたために合計で63万6千円の増額となった。

（仮称）東部小・中学校実施設計に要する経費について
（仮称）西部小・中学校実施設計に要する経費について

質問 設計業者の選択方法。

答弁 現在決定していない。今後決定したい。

質問 履行期間。

答弁 今年12月までに終わる。5カ月間の期間を予定している。

総務費について

質問 前年度と比較して、8152万6千円減額の内訳と理由は。

答弁 東多久駅北側の住宅団地造成事業（合併処理浄化槽による排水処理について、地元との合意が得られなかった）の計画断念に伴う経費6841万9千円の減額。昨年度までに完了した事業である総合計画作成と電算システム改修の経費減額。地籍調査の現地調査終了に伴う経費分が減額。また、期末勤勉手当の減に伴う給与費の減額が主なもの。

質問 今年度は別の場所での計画は考えられなかったのか。

答弁 何とか次の候補地で住宅団地をつくりたいと調査をし、協議してきたが予算計上できなかった。今後、市保有地の遊休地を活用して、改めて提案をしたい。

道路維持費について

質問 市内いたる所の水路が耐用年数

を過ぎており、周囲を浸食している場所が多々あります。最低限のメンテナンスさえできてない状況で全面的な改修計画が必要だと再三訴えてきましたが、この予算額で十分だと考えているのか。市民の生命・財産を守る観点からしっかりとやって頂きたい。

【答弁】 道路側溝等の老朽化は、把握していますが、工事請負費には単独費を当てていますので、十分な手当てができておりません。また、道路側溝や公有水面などの位置づけがはっきりしているものには対応ができますが、市内には位置づけの実態が無い水路等もありますので今後対応を協議していきたい。

▲議案乙第21号

平成22年度多久市病院事業会計補正予算(第2号)について

補助金返還金について

【質問】 平成21年度の新型インフルエンザ対策補助事業に対し契約手続きの不備により補助金を返還されているが、公立病院の経営は非常に厳しい状況の中、事務手続きのミスにより215万円の損害を与えた事を重く受け止めて今後の対策をどのようにされるのか。

【答弁】 当時インフルエンザ流行の中、緊急性があると判断して随意契約を行った中でのミスでした。今後、このような事が無いように十分に注意を払って対処していきたいと思います。

▲議案乙第22号 平成22年度多久市一般会計補正予算(第6号)

【質問】 今、優先すべきは被災して避難してこられた方などへの対応策を講じておくべきで義援金の形で支出するべきではない。予備費の中で適宜対応できるのであれば今年度中は予備費で対応すべきではないか。震災のことに對しては今後何時までかかるかまだ分からない状況であり、公金の支出については行政として為すことをしっかりと議論して新年度予算で対応すべきである。

【答弁】 被災地支援の協議の中で、受け入れ費用等の予算も必要ではないかとの意見も出ましたが、1千万円の見舞金を出しても800万円ほど予備費が残っているのに対応できる。

反対討論

野北 悟

自治体が行うべき問題は、職員の派遣などの今後の対策を考え備えることである。先ほど市長が言われた特別交付税が8億円の予定が10億円入ってきたので、1千万円足らなくてもよいなどとは、公金を扱う立場の者としてはあつてはならない発言であります。お金は財政調整基金や減債基金の繰入金とし、次年度に取り崩して支出すればよい。残り10日もない状況で、このような形の寄付金を支出することは予算の使い方として認められませんので反対します。

委員会審査報告

総務文教委員会

議案甲第2号：多久市職員給与条例の一部を改正する条例

本案は、

- 1 部制の廃止に伴い、行政職給料表の7級を廃止する
- 2 管理職手当を給料月額に対する率から定額に改正する
- 3 医師給与の改善のために初任給調整手当を見直す
- 4 月60時間を超える時間外勤務に対する手当は割増率を上乗せされていますが、時間外勤務時間の累計に日曜日を加える
- 5 昨年の12月から55歳を超える管理職の給与については、給料、管理職手当、期末手当、勤勉手当から1・5%を減額されていますが、現在、規則で規定している管理職手当についても条例に規定する

以上の点について改正するものであり、本案を原案どおり承認することに決定しました。

議案甲第3号：多久市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例

本案は、清掃センターの業務委託に伴い、清掃センター夜間作業手当の廃止と、医師給与の改善のために医療手当を見直すものです。

医療手当の見直しにつきましては、多久市職員給与条例で提案されました初任給調整手当と合わせて、一体的な見直しが行われており、本案を原案どおり承認することに決定しました。

議案甲第4号：多久市定住促進条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

本案は、多久市定住促進条例の一部を改正する条例について、その改正条例の一部を改正するものです。

改正の内容は、定住促進条例の一部改正に伴い、新設された新婚世帯が行う新築住宅等の取得に対する助成については、現地建替えの場合を「新婚世帯増改築等補助金」の対象に、それ以外の場合は「持ち家奨励金」の対象にするよう規定されていました。しかし、同じ新婚世帯に対する奨励金でありながら、現在の規定では、場合により対象や申請時期が異なるケースで、奨励金の額に違いが生じる場合が発生します。これらを解消するために新婚世帯が行う新築住宅等の取得を対象にする助成は、すべて「新婚世帯増改築等補助金」とすることに改めるもので、この条例については、広くパンフレット等で周知されるよう要望します。なお、この条例は4月1日に施行されるもの

で、本案を原案どおり承認することに決定いたしました。

産業厚生委員会

議案甲第5号：市道路線の廃止について

本案は、市道の廃止（4路線、延長598m）を提案するものです。

具体的には、区画整理事業による道路の付替えとして西砂原線延長228m、梅木湯端線延長149m、砂原線延長118mです。また、近年の道路利用形態の変化に伴い交通量が著しく少なく市道として機能を有していない路線として、旭ヶ丘2号線延長103mを廃止するものです。

慎重に審査した結果、本案を原案どおり承認することに決定しました。

議案甲第6号：市道路線の認定について

本案は、市道の新規認定（7路線、延長1007m）を提案するものです。

具体的には、区画整理事業により整備された路線として西砂原線延長393m、湯端梅木線延長179m、砂原線延長63m、梅木4号線延長245m、湯端1号線延長33m、梅木5号線延長18mです。また、（仮称）中央小・中学校の通学路整備によるものとして中多久歩道橋線延長76mを市道として認定するものです。

現地踏査により新たに認定する湯端

1号線と梅木5号線は歩道専用であり、その明確な表示を行うように要望しました。

慎重に審査した結果、本案を原案どおり承認することに決定しました。

このことにより、市道598mの路線廃止と1007mの路線認定により市全体の路線は684路線となり、総延長は32万2750mとなります。

予算特別委員会

議案乙第3号：平成23年度多久市一般会計予算

歳入歳出予算の総額は、104億5千万円で、前年度当初予算と比較して、7億4千万円、7・6%の増となっております。

増額となった主なものは（仮称）中央小・中学校建設事業、（仮称）西溪小・中学校、（仮称）東部小・中学校実施設計事業、保育所緊急整備事業、中多久歩道橋新設事業などであり、審査に入る前に執行部から概要説明を受け、歳入歳出ともに款毎に予算説明書で審査しました。

歳入のうち、主なものは、

市税	17億531万8千円
地方交付税	39億円
国庫支出金	13億9975万1千円
県支出金	8億2114万7千円
繰入金	5億2428万5千円

市債 11億1180万円
となっており、

市税は、景気の低迷、たばこ税等の影響で前年度より8753万7千円、4・9%の減少が見込まれています。

地方交付税は、地方分権・地域主権改革にそった財源の充実を図るための施策等により1億円、2・6%の増が見込まれております。繰入金は主に、財政調整基金繰入金2億2254万5千円、減債基金繰入金1億5802万3千円、文教基金繰入金1億2千万円となっております。

市債は、学校建設事業と過疎債ソフト事業が増えたことにより、前年度より2億3010万円の増となっております。

次に、歳出予算の特徴的なものは

総務費では、定住施策を推進するため、多久市定住促進条例に基づく転入奨励金について、本年4月より新たに子育て世代を誘導するため新婚世帯家賃等補助事業がスタートします。同経費を含めた費用2900万円を、住民基本台帳法改正に伴うシステムの改修費用1170万円。

民生費では地域福祉計画、高齢者福祉計画、障害者福祉計画の策定費用135万4千円を、平成22年4月より創設された子ども手当支給事業について、現行制度での経費4億950万円。

衛生費では不妊治療助成事業の助成

金額を5万円から10万円へ増額が図られています。

労働費では、平成21年度から国の雇用対策として実施している緊急雇用創出事業6071万2千円。ふるさと雇用再生特別交付金事業3554万2千円。

農林業費では有害鳥獣による農産物の被害防止のために、今年度より進入防止柵用の整備に対する助成経費1050万円。

商工費では、多久市商工会設立50周年記念事業助成金100万円。

土木費では、（仮称）中央小・中学校通学路整備に伴う、中多久歩道橋新設にかかる経費4851万1千円、活力創出基盤整備総合交付金事業3033万円。

消防費では、10月に横浜市で開催予定の、全国女性消防操法大会出場にかかる経費755万1千円。

教育費では、平成25年4月の小中一貫教育のスタートに向けた学校建設事業として、（仮称）中央小・中学校校舎・体育館・プールの建設に要する経費9億4321万6千円、また、（仮称）西溪小・中学校及び（仮称）東部小・中学校実施設計事業として6204万2千円。社会教育関係では、総合運動場庭球場の改修費用1740万円が計上されています。

審議の過程で、今回の地震で過疎債

の借入や交付税措置は大丈夫かとの質問に対し、執行部から平成23年度の地方財政計画、地方債計画、過疎債に関する法律に基づいたものであるので、現制度を基本として臨んでいきたい。仮に今回の非常事態で変更となれば、それはその時に対応しなければいけないとの回答でした。

慎重に審査した結果、原案どおり承認することに決定いたしました。

議案乙第12号：平成22年度多久市一般会計補正予算（第5号）

今回の補正予算は、事業費の確定及び執行見込みによる減額補正が主な内容となっております。補正額は、1億7653万1千円の減額で、補正後の歳入歳出予算の総額は103億3993万2千円となっております。

歳入の主なものは

市税 629万8千円

分担金及び負担金 1411万8千円の減

国庫支出金 8822万4千円の減

県支出金 1978万5千円の減

繰入金 6579万1千円の減

となっております。

歳出の主なものは

総務費 1137万2千円

民生費 1億554万3千円の減

農林業費 1118万6千円の減

災害復旧費 5937万9千円の減

となっております。

総務費では財政調整基金積立金の増額、住宅団地造成に要する経費の減額。民生費では国民健康保険事業特別会計繰出金の増額、子ども手当、生活保護、保育園等の扶助費の減額。農林業費では中山間地域等直接支払交付金の減額。災害復旧費では現年発生農地、農業用施設、林道災害復旧事業費の減額となっております。

慎重に審査した結果、原案どおり承認することに決定いたしました。

ほか、特別会計予算17議案（当初予算8議案、補正予算9議案）も審議し、原案どおり承認することに決定いたしました。

都市再生定住促進対策特別委員会

本委員会は4年間様々な角度から協議してきましたが、そのまとめとしては、まず、多久市の未来を考えるならば、若者をターゲットとした施策を考えるべきであると確認しました。

そのための政策として、

1 住む環境づくりとして、住宅政策

2 生活基盤づくりとして、雇用開発

3 都市魅力向上のための中心市街地開発

が柱となると考えられます。

更に、3項目と同時に、暮らし、地域の魅力向上も考えなければなりません。

コリー、ゆうらくの問題にも行政が積極的に係わり、多久市の活性化の視点で取り組むべきである。

その他、医療、公共サービスの充実も検討する必要があります。また、高齢者支援も考えなくてはなりません。特に団塊世代も視野に入れた移住、交流政策も重要政策であるということを確認しました。

新たに、4月から総合政策課が設置されますが、その中では、以上の諸問題と同時に保育から学校教育まで、一貫した政策として考え、若者定住に向け、取り組まれるよう提言いたします。

今後も、このテーマは市政にとって重要でありますので、何らかの形として議会として常時取り組んでいく必要があると考えます。

議会等行財政改革特別委員会

本委員会に付託になっております議会等行財政改革について、2月10日と15日に委員会を開催し、議会基本条例（案）に対するパブリックコメントについて審議しましたので報告します。

パブリックコメントは1月11日より2月10日までの期間を定め募集いたしました。これに対して、1市民の方より30数点の意見及び提案等が寄せられました。募集期間中ではありましたが、その内容を早めに全委員に知らせ、回

答の仕方について協議をしてきたところです。意見としては、的確な指摘ではありませんが、委員会の中で、素案から検討する過程の中で、幾度となく協議した事項でありましたので、条文の変更までは至りませんでした。条例策定後に、予算面等を考慮して、協議すべき事項については、今後の検討課題と回答しています。

尚、今回の条例（案）が本特別委員会としての最終案だと2月15日に議長に報告しましたが、回答の仕方についての写しを、本委員会に所属していない全ての議員に配布し意見を求めたところ1名の議員から意見が寄せられました。2月24日の常任委員会協議会の終了後に内容を検討し、一部文言を追加修正し、2月28日にインターネットによる公表を済ませたところです。

回答書の中に出てくる、議員研修の強化を記述した第11条の中の新たな研修先「全国市町村国際文化研究所」については、追加の費用負担をしないので実現できる方策を今後、議会内部において検討する必要があります。

選挙投票所の適正規模に統廃合する見直し提言は、昨年の参議院選挙より16投票所が11投票所に集約され実現しております。

尚、今後のスケジュールとしては、3月議会中に条例の議員提案を行い、4月1日に条例施行となる予定です。

平成23年 2 月 市議会臨時会 議決結果

議案番号	議 案 名	備 考
議案甲第 1 号	(仮称) 中央小・中学校敷地造成工事請負契約の締結について	賛成多数
議案乙第 1 号	平成22年度多久市一般会計補正予算 (第 4 号)	原案可決
議案乙第 2 号	平成22年度多久市土地区画整理事業特別会計補正予算 (第 4 号)	原案可決
諮問 第 1 号	人権擁護委員候補者 (柿木 スミ子氏) の推薦について	異議なし

平成23年 3 月 市議会定例会 議決結果

議案番号	議 案 名	備 考
議案甲第 2 号	多久市職員給与条例の一部を改正する条例	原案可決
議案甲第 3 号	多久市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例	原案可決
議案甲第 4 号	多久市定住促進条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案甲第 5 号	市道路線の廃止について	原案可決
議案甲第 6 号	市道路線の認定について	原案可決
議案甲第 7 号	多久市議会基本条例	原案可決
議案乙第 3 号	平成23年度多久市一般会計予算	賛成多数
議案乙第 4 号	平成23年度多久市給与管理・物品調達特別会計予算	原案可決
議案乙第 5 号	平成23年度多久市土地区画整理事業特別会計予算	原案可決
議案乙第 6 号	平成23年度多久市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案乙第 7 号	平成23年度多久市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案乙第 8 号	平成23年度多久市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案乙第 9 号	平成23年度多久市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案乙第10号	平成23年度多久市水道事業会計予算	原案可決
議案乙第11号	平成23年度多久市病院事業会計予算	原案可決
議案乙第12号	平成22年度多久市一般会計補正予算 (第 5 号)	原案可決
議案乙第13号	平成22年度多久市給与管理・物品調達特別会計補正予算 (第 3 号)	原案可決
議案乙第14号	平成22年度多久市土地区画整理事業特別会計補正予算 (第 5 号)	原案可決
議案乙第15号	平成22年度多久市公共下水道事業特別会計補正予算 (第 4 号)	原案可決
議案乙第16号	平成22年度多久市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 3 号)	原案可決
議案乙第17号	平成22年度多久市老人保健事業特別会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
議案乙第18号	平成22年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 3 号)	原案可決
議案乙第19号	平成22年度多久市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
議案乙第20号	平成22年度多久市水道事業会計補正予算 (第 3 号)	原案可決
議案乙第21号	平成22年度多久市病院事業会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
議案乙第22号	平成22年度多久市一般会計補正予算 (第 6 号)	賛成多数
意見 第 1 号	国による乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書	原案可決

多久市議会の新構成決まる

16人の議員による新体制がスタート

臨時議会

議長に山本茂雄議員、副議長に角田一彦議員を選出



角田 一彦 副議長



山本 茂雄 議長

去る4月24日執行の市議会議員選挙後、5月11日に最初の市議会臨時会が開催され、正副議長の選挙をはじめ、各常任委員及び議会運営委員の選任など、議会の構成を行いました。

選挙の結果、議長に山本茂雄氏、副議長に角田一彦氏がそれぞれ選出されました。

山本議長は現在4期目で、これまでに議会運営委員長、議会等行財政改革特別委員会副委員長等を歴任しています。

角田副議長も現在4期目で、これまでに産業厚生委員長、建設経済副委員長等を歴任して

ます。

各常任委員会、議会運営委員会の構成については下表のとおりです。

また、議会構成後、執行部から提案された6議案（専決処分条例2件・予算3件、議会選出

監査委員1件）が審議され、いずれも原案どおり承認、同意されました。

議会選出の監査委員は、牛島和廣議員（4期目）の選任に同意しました。

ご挨拶

多久市議会議員

山本 茂雄

このたび、皆様の温かいご推挙によりまして、議長の要職につくことは身に余る光栄でございます。心から感謝を申し上げます。責任の重さを一層痛感いたしているところでございます。私も3期12年の経験を生かして市民の皆さまのための議会になるように心がけてまいりたいと思います。市民の皆さまから付託をいた

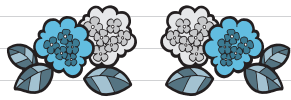
だいた議員一人ひとりが気持ち新たに、議決機関・行政の監視機関としての使命を再認識して、これから議会を今まで以上に開か

れたものとするため、努力をしてまいります。3月議会で議会基本条例を制定し、議会報告会を実施するようにしています。市民の皆さまの声を聞き、皆様には積極的に市政へご参加いただく場を作ってまいります。今後共ご支援とご協力をお願い致しまして、ご挨拶と致します。

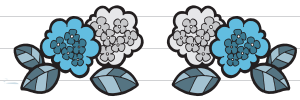
多久市議会委員会委員名簿

平成23年5月11日現在

委員会名	氏名 (◎委員長 ○副委員長)
総務文教委員会	◎飯守 康洋／○田渕 厚／田中 英行／中島 國孝／野北 悟／古賀 公彦／香月 正則／山本 茂雄
産業厚生委員会	◎中島 慶子／○國信 好永／牛島 和廣／平間 智治／興梠多津子／永井 孝徳／野口 義光／角田 一彦
議会広報委員会	◎野北 悟／○興梠多津子／中島 慶子／中島 國孝／野口 義光／香月 正則
議会運営委員会	◎野北 悟／○平間 智治／牛島 和廣／田中 英行／國信 好永／古賀 公彦



議会活動報告



新人議員研修会 (5/24～26・第3委員会室)



中央中卒業式 (3/11・中央中学校)



高取像除幕式 (5/3・西溪公園)



納所小入学式 (4/12・納所小学校)

議長交際費 (H23.2～H23.3) (単位:円)

種別	区分	件数	金額
弔意	当回分	0	0
	累計	1	3,000
見舞い	当回分	0	0
	累計	0	0
御祝	当回分	0	0
	累計	7	38,050
賛助	当回分	0	0
	累計	0	0
激励金	当回分	0	0
	累計	0	0
接遇	当回分	0	0
	累計	1	3,000
会費	当回分	0	0
	累計	3	20,000
その他	当回分	1	3,000
	累計	3	9,700
計	当回分	1	3,000
	累計	15	73,750

(累計は22年度計)



議会のはなし

新人議員研修会を実施

4月の市議会議員選挙で当選された、新人議員6人(元職含む)に対して5月24日から26日まで、市役所の全21課からそれぞれ、課の仕事内容を中心に担当より説明を受け、熱心な意見交換が行われました。一回の研修で全部を理解する事は大変むずかしいと思いますが、後日資料を見直すことで、今後の議会活動での質問等に大いに役立つ事を期待します。

編集後記

4月24日の統一地方選挙により、議員の構成や人事が大きく一新されました。今回の編集については、旧委員会のメンバー中、残った4人で編集作業を行いました。2年間の間、いろいろな意見を出し合いながら多くの人に見てもらえるよう努力してまいりましたが、至らない点が多々あったかと思えます。新体制になっても、多くの方々に見ていただけるよう努力してまいります。

議会広報委員会

副委員長

委員 野北 悟

委員 田中 英行

委員 國信 好永

中島 慶子

